

## ハウステンボス・サテライト H2クリニック博多 平成27年11月20日 開院 — 「健康と美の王国」ハウステンボスとの連携を開始 —

ハウステンボス株式会社（本社：長崎県佐世保市）は今年20日に開院する「ハウステンボス・サテライト H2クリニック博多」（石橋徹院長）との連携を開始します。

ハウステンボスは本年から「健康と美の王国」を展開しています。“健康の館”には、高濃度水素水（7.0ppm）などサプリメントと健康食品の品揃えが日本最大級の「健康食品とサプリの城」、施設を訪れたお客様が、その場で簡便に健康状態をチェックするための「健康クリニック」や、ヒーリングルームでゆっくり休憩いただける「健康サウンド オブ ヒーリングラウンジ」が揃っています。

また医食同源の発想に基づき、地産地消にこだわった安心安全の食材を使用したお料理や併設の野菜工場から採れたての野菜が並ぶ“健康レストラン オーラ”も登場しています。

その他“ハウステンボス天然温泉やすらぎの館”も加わり温泉でリラックスいただく環境も整っています。

一方、この度開院するハウステンボス・サテライト H2クリニック博多は、最先端テクノロジーに精通した医師によるハイスpek的なMRIや、NBI内視鏡という一般の大規模総合医療施設でもあまり導入されていない超早期診断が可能な最先端システムを導入し、且つ革新的な装置を用いた血管診断や最先端の水素医療・抗炎症医療を提供するクリニックとなります。

「健康」には、二つの意味が含まれています。

一つは「心身ともに健やかで元気である」、という意味です。「健康と美の王国」では、まさにこの美しい健康を実感し、楽しみ、そして育むことをテーマにしています。

これと背中合わせになっているもう一つの「健康」とは、「心身に悪いところ、病気がない」状態を意味します。これは、まさに「医療」であって、しかも最も重要な予防医療、精度の高い最先端の診断技術を必要とする健康医療のことです。

ハウステンボスは、長期にわたってお客様の健康維持に関わっていくことを企図し、「二つの健康」に対する積極的な展開として、「心身に悪いところ、病気がない」状態を提供すべく、この度、最先端の医療設備を誇るハウステンボス（HTB）・サテライト H2クリニック博多との連携を開始する運びとなりました。

今後、ハウステンボスへご来場のお客様の「身体に対する不安」「何らかの痛みや苦痛」「何かがおかしい症状」そして「無自覚ではあるけれども、本当に悪いところはないのだろうか」などの疑問にお応えすべく、また積極的により高度な検査や治療をご希望されているお客様をHTBサテライト・H2クリニック博多へ紹介すべく、このたびの連携に取り組んで参ります。

同時に、「HTBサテライト・H2クリニック博多」に来院される方々には、心身ともにリフレッシュいただけるハウステンボス「健康と美の王国」へのご滞在をお勧めするなど、相互で連携を図って参ります。

## 【「ハウステンボス・サテライト H2クリニック博多」の取り組みについて】

この度開院する HTB サテライト・H2 クリニック博多では、クリニックレベルでは脳神経外科の一部しか導入していないハイスpek的な MRI (Magnetic Resonance Imaging : 最新の 1.5 テスラ磁気共鳴画像診断装置 : マンモグラフィーよりも高い精度の診断が可能となる乳ガン検診専用のプレスト・コイルを装備。その他ガン検診全般や認知症診断など、苦痛なき全身精査が可能) や、NBI 内視鏡 (Narrow Band Imaging : 毛細血管や微細な粘膜構造まで描出できる拡大内視鏡) という一般の大規模総合医療施設でもあまり導入されていない超早期診断が可能な最先端システムを導入しています。

これらの最先端テクノロジーに精通した医師が診断および治療に当たるので、胃ガンや大腸ガンなどの各種消化器疾患はもとより、乳がんや脳血管障害などリスクが高く超早期診断を要求される疾病群などを、迅速にスクリーニング検診し、ほぼ全身を網羅した広い範囲の健康を求めることができます。特に、NBI 拡大内視鏡では、これまでの通常内視鏡では同定困難であった微小な超早期病変を発見でき、病変が小さい場合は、苦痛なく、日帰り治療が可能です。

また、血管の状態、血管機能は「二つの健康」を支える基盤です。高磁場 MRI など上記高精度診断システムに加え、抹消の血管機能を迅速かつ簡便に診断できるエンドパッドといわれる革新的な装置を用いて血管機能の未来予測を行い、「美しき健康」を未来に向かって永く追求します。

HTB サテライト・H2 クリニック博多における最先端の超早期診断技術は、このように二つの健康を根本から支えることができるのです。

リウマチ診療と整形外科を担当する院長の石橋医師は、リウマチという慢性炎症疾患の中でも自己免疫が関与する、通常ならば高度に開発された治療薬による高額医療が必要になることが多い炎症疾患に対し、水素 H<sub>2</sub> というヒトはもとよりほぼすべての動植物の健康に圧倒的な効力を発揮する無害な医療ガスを適用してきました。それによって、クスリによらない、あるいは低い適量のクスリが最大限の効果を発揮できるようにする治療に携わることができました。また、この医療ガス H<sub>2</sub> が血管に対しても極めて高い健康効果を発揮することを突き止め、これからの健康医療に欠かすことのできない、血管を美しく保つことに取り組んでいます。

内視鏡のエキスパートである副院長の佐藤医師と、小倉記念病院をはじめとした内視鏡専門医グループが連携し、最高レベルの消化器内視鏡医療を提供します。また入院治療必要時は、これらのグループに紹介可能な体制を整えています。同時に、画像診断を駆使した総合診断のエキスパートである馬場医師の協力のもと、先端予防医療・未病を最良レベルで推進します。

この様に HTB サテライト・H2 クリニック博多では MRI による全身画像検査と、NBI 内視鏡による全消化器検査を組み合わせることによって、ほぼ全領域の検診が可能な体制を整えた上で、日帰り人間ドックの需要に積極的に対応して参ります。

同時に全スタッフが、これからの人類の健康に欠かせない世界最先端の水素 H<sub>2</sub> 医療提供することによって、7大疾病 (ガン・心疾患・脳血管障害・高血圧性疾患・糖尿病・肝硬変・慢性腎不全) すべての原因となっている炎症という病態の改善を目的とした新たな抗炎症治療を推進することで、美しく健康なヒトの未来時間を築いていきます。

## 【クリニック概要】

名 称：ハウステンボス・サテライト H2 クリニック博多

\*H2には二つの意味を込めています。1つは「Health & Healing」健康と治癒。その両方にしっかり取り組んでいきます。もうひとつは水素 H2。水素ガス H2 があらゆる疾病のリスクを減らして、特に炎症を抑える力が強いということが近年わかってきており、HTB サテライト・H2 クリニック博多では、水素ガス H2 を積極的に治療に取り入れていく考えです。

院 長：石橋 徹

開院日：平成27年11月20日 \*11月16日プレオープン

所在地：〒812-0038 福岡市博多区祇園町2-1 シティ17ビル1F

施設面積：231.95㎡

要員数：常勤医師2名 非常勤医師2名 看護師3名 技師1名、事務および医療補助4名

開院時間：受付 9:30-13:00, 15:30-19:00

\*木曜日は 9:30-13:00

\*土曜日は 9:30-17:00

\*日曜日は年内休診、

新年1月10日より、9:30-12:00, 13:30-16:00

\*祝日は休診

日帰り人間ドック・ガン検診：12月1日からの予約枠を随時受付。

法定検診などの一般検診：11月20日より受け入れ。

診療科目：(一般保険診療)

内 科：消化器診療および高血圧、糖尿病などの生活習慣病診療を含めた総合診療

整形外科：整形外科全般およびリウマチ専門外来

消化器内科：内視鏡検査および鏡視下日帰り治療

放射線科・総合診療科：画像診療および総合診療

(自由診療)

リウマチ・乾癬などの慢性炎症性疾患に対する水素治療や抗酸化療法

血管機能診断および、水素を用い皮膚・血管総合診療

お客様のお問合せ先：ハウステンボス・サテライト H2 クリニック博多

TEL 092-282-5005 (11月16日以降)

FAX 092-282-5031

住所：福岡市博多区祇園町2-1 シティ17ビル1F

## 【 医師紹介 】

### 院長：石橋 徹

九州大学医学部卒業（医博）・日本整形外科学会専門医・日本リウマチ学会専門医。

整形外科医として、運動器の外科、抗リウマチ薬によるリウマチ治療、疼痛のコントロールを目的とした治療に携わる。研究では、米国マサチューセッツ工科大学（MIT）化学部門及び物理学部門、生物分子工学研究所（現阪大蛋白研）、理化学研究所などで、医学の根底をなす化学反応を見つめつつ、一貫して生命にとって、ヒトの健康にとって最適・最良な分子を追求している。これからの健康医学の柱として、2010年より水素分子（H<sub>2</sub>）を用いた医療を推進。

ハウステンボス・サテライト・H<sub>2</sub>クリニック博多では、高磁場MRIをはじめとした最新機器を用いた外来診療にて、未病・予防医療を推進する。また、最先端の水素医療・抗炎症医療を提供することで、健康の要である血管機能の改善と、難治性炎症疾患の苦痛なき治療に貢献したい。

### 副院長：佐藤 拓史

東京大学および浜松医科大学医学部卒業・日本救急医学会 Japan Advanced Trauma Evaluation and Care インストラクター。

救命救急部(ER)の現場で救命医療（ドクターヘリなど）および消化管に対する緊急内視鏡医療に携わり、その発展に取り組む。

同時に、早期発見・早期治療医療の最前線で、消化管全般、特に上部、下部内視鏡の検査においては最新の内視鏡システム(拡大内視鏡、NBI システム)を用いて、従来の内視鏡では診断が困難であった超早期がんの発見および外来鏡視下治療を積極的に行っている。

その技術を活かして国際医療支援活動にも携わっており、海外における災害医療支援に積極的に取り組むと同時に、日本の先端技術である内視鏡治療を普及させるべく、海外の医師たちへの内視鏡技術の指導に当たっている。

ハウステンボス・サテライト・H<sub>2</sub>クリニック博多では、最先端の消化器内視鏡技術と、救急医療の経験を活かして、最新・最良の予防医療に貢献したい。

### 非常勤医師：馬場 健吉

久留米大学医学部卒業（医博）・日本放射線学会専門医・日本核医学会専門医（PET および核医学）。

放射線科専門医として、MRI・PET（陽電子放射断層撮影）・血管造影など最先端の画像診断をもとに、これまでは困難であった、超早期の血管病変や認知症などの診断に取り組んでいる。また、画像診断のみならず、上部・下部内視鏡、気管支鏡検査も駆使し、総合診療を行っている。さらに、転移性のがんなどに対する新たな緩和療法や、漢方治療も取り入れた総合診療にも積極的に携わっている。

ハウステンボス・サテライト・H<sub>2</sub>クリニック博多では、上記最先端画像診断技術を駆使し、病変の超早期発見総合診療を推進するのみならず、最新・最良の予防医療に貢献したい。

《ニュースリリースについてのお問い合わせ先》  
ハウステンボス株式会社 経営企画室 高田・中野裕子  
TEL 0956-27-0138 FAX 0956-27-0025  
<http://www.huistenbosch.co.jp>